



三菱電機 産業用除湿機

形名

REH-SP5B

(室内ユニット…RE-SP5B)
(室外ユニット…RUH-P5B)
(コントローラ…C-202K)

取扱説明書

もくじ

	ページ
安全のために必ず守ること ……………	2
故障をさけるために必ず守ること ……………	6
各部の名称とはたらき ……………	7
運転の仕方 ……………	9
長期間ご使用にならないとき ……………	11
お手入れの仕方 ……………	12
ようすがおかしいとき ……………	13
保証条件・アフターサービス ……………	14
運転温湿度範囲のめやす ……………	15

製品を正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ずこの「取扱説明書」をよくお読みください。

お読みになったあとは「据付工事説明書」とともに大切に保管してください。万一ご使用中にわからないことや不都合が生じたとき、お役に立ちます。

(特殊仕様品については製品の細部が、この説明書と若干異なる場合があります。)

「この製品は日本国内用ですので、日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。」
「This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.」

安全のために必ず守ること

- ◆この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、据付けてください。
- ◆ここに記載した注意事項は、安全に関する重要な内容です。必ずお守りください。

⚠ 警告

取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度

⚠ 注意

取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または、物的損害の発生が想定される危害、損害の程度

- ◆図記号の意味は次のとおりです。



(一般注意)



(破裂注意)



(感電注意)



(やけど注意)



(回転物注意)



(けが注意)



(一般禁止)



(水ぬれ禁止)



(ぬれ手禁止)



(一般指示)



(アース接続)

- ◆お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
- ◆お使いになる方は、本書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事をされる方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

電気配線工事は「第一種電気工事士（工事条件によっては第二種電気工事士）」の資格のある者が行うこと。
気密試験は「高圧ガス検査員」の資格のある者が行うこと。

一般事項

⚠ 警告

フィルター清掃・交換など高所作業時は足元に注意すること。

- ◆落下・転倒し、けがのおそれあり。



足元注意

アルコール消毒した場合、周囲に充満するアルコールガスを換気して取除くこと。

- ◆ガスを取除かずに電源を入れた場合、引火・爆発のおそれあり。
(本製品は防爆仕様ではありません)



爆発注意

薬品散布する場合、ユニットを停止し、カバーを掛けること。

- ◆薬品がかかると、けが・感電をすることがおそれあり。



感電注意

運転中および運転停止直後の冷媒配管・冷媒回路部品に素手で触れないこと。

- ◆冷媒は、循環過程で低温または高温になるため、素手で触れると凍傷・火傷のおそれあり。



やけど注意

掃除をする場合、電源スイッチを切ること。(電源プラグ付きの製品は、プラグを抜くこと。)

- ◆ファン・回転機器により、けが・感電のおそれあり。



回転物注意

安全装置・保護装置の改造や設定変更をしないこと。

- ◆圧力開閉器・温度開閉器などの保護装置を短絡して強制的に運転を行った場合、破裂・発火・火災・爆発のおそれあり。
- ◆設定値を変更して使用した場合、破裂・発火・火災・爆発のおそれあり。
- ◆当社指定品以外のものを使用した場合、破裂・発火・火災・爆発のおそれあり。



変更禁止

吹出し風を身体に直接当てないこと。

- ◆吹出し風を身体に直接当たった場合、体調悪化や健康障害、食品劣化のおそれあり。



使用禁止

吹き出しの風が直接あたる所に燃焼器具を置かないこと。

- ◆燃焼器具が不完全燃焼を起こし、酸素欠乏・一酸化炭素中毒のおそれあり。



使用禁止

特殊環境では、使用しないこと。

- ◆ 油・蒸気・有機溶剤・腐食ガス（アンモニア・硫黄化合物・酸など）の多いところや、酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところで使用した場合、著しい性能低下・腐食による冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・故障・発煙・火災のおそれあり。



使用禁止

腐食性雰囲気になるものを保存しないこと。

- ◆ 酢漬など酸性の食品や塩分を含む食品は、密閉容器に入れること。
- ◆ 腐敗物からは、アンモニアなどの腐食性ガスが発生するため、放置しないこと。
- ◆ 密閉されていない場合や腐食性ガスがある場合、ユニットが腐食し、冷媒が漏れ、酸素欠乏のおそれあり。
- ◆ 故障のおそれあり。



使用禁止

水・液体で洗わないこと。

- ◆ ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



水ぬれ禁止

水をかけないこと。

- ◆ ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



水ぬれ禁止

濡れた手で電気部品に触れたり、スイッチ・ボタンを操作したりしないこと。

- ◆ 感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



ぬれ手禁止

換気をよくすること。

- ◆ 冷媒が漏れた場合、酸素欠乏のおそれあり。
- ◆ 冷媒が火気に触れた場合、有毒ガス発生のおそれあり。



指示を実行

換気をよくすること。

- ◆ 燃焼器具を使用した場合、不完全燃焼を起こし、酸素欠乏・一酸化炭素中毒のおそれあり。



指示を実行

ヒューズ交換の場合、指定容量のヒューズを使用すること。

- ◆ 指定容量外のヒューズ・針金・銅線を使用した場合、破裂・発火・火災・爆発のおそれあり。



指示を実行

異常時（こげ臭いなど）や不具合が発生した場合、運転を停止して電源スイッチを切ること。

- ◆ お買い上げの販売店・お客様相談窓口ご連絡すること。
- ◆ 異常のまま運転を続けた場合、感電・故障・火災のおそれあり。



指示を実行

ユニットの廃棄は、専門業者に依頼すること。

- ◆ ユニット内に充てんした油や冷媒を取除いて廃棄しないと、環境破壊・火災・爆発のおそれあり。



指示を実行

⚠️ 注意

フィルターを外す場合、保護具を身につけること。

- ◆ ホコリが目に入り、けがのおそれあり。



ホコリ注意

空気の吹出口や吸込口に指や棒などを入れないこと。

- ◆ ファンによるけがのおそれあり。



回転物注意

部品端面・ファンや熱交換器のフィン表面を素手で触れないこと。

- ◆ けがのおそれあり。



けが注意

製品の近くに可燃物を置かないこと。また、可燃性スプレーを使用しないこと。

- ◆ 引火・火災・爆発のおそれあり。



使用禁止

パネルやガードを外したまま運転しないこと。

- ◆ 回転機器に触れると、巻込まれてけがのおそれあり。
- ◆ 高電圧部に触れると、感電のおそれあり。
- ◆ 高温部に触れると、火傷のおそれあり。



使用禁止

殺虫剤・可燃性スプレーなどを製品の近くに置いたり、直接吹付けないこと。

- ◆ 変形・引火・火災・爆発のおそれあり。



使用禁止

ユニットの上に乗らないこと。物を載せないこと。

- ◆ ユニットが落下・転倒し、けがのおそれあり。



使用禁止

食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途には使用しないこと

- ◆ 保存品が品質低下するおそれあり。



使用禁止

吹き出しの風が直接あたる所に動植物を置かないこと。

- ◆ 悪影響のおそれあり。



使用禁止

運転停止後、すぐにユニットの電源を切らないこと。

- ◆ 運転停止から5分以上待つこと。
- ◆ ユニットが故障し、水漏れにより家財が濡れるおそれあり。



禁止

販売店または専門業者が定期的に点検すること。

- ◆ユニットの内部にゴミ・ほこりがたまった場合、ドレン排水経路が詰まり、水漏れにより家財が濡れるおそれあり。
- ◆においが発生するおそれあり。



指示を実行

運搬・据付工事をするときに

⚠警告

販売店または専門業者が据付工事説明書に従って据付工事を行うこと。

- ◆不備がある場合、冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・火災のおそれあり。



指示を実行

冷媒が漏れた場合の限界濃度対策を行うこと。

- ◆限界濃度を超えないための対策は、弊社代理店と相談すること。
- ◆冷媒が漏れた場合、酸素欠乏のおそれあり。(ガス漏れ検知器の設置をすすめます。)



指示を実行

⚠注意

濡れて困るものの上に据付けないこと。

- ◆ユニットからドレンが出るため、必要に応じて集中排水工事をする。



据付禁止

濡れて困るものの上に据付けないこと。

- ◆湿度が80%を超える場合や、ドレン出口が詰まっている場合、室内ユニットからの露落ちにより、天井・床が濡れるおそれあり。



据付禁止

配管工事をするときに

⚠注意

ドレン水が排水できることを確認すること。

- ◆不備がある場合、水漏れにより家財が濡れるおそれあり。



指示を実行

冷媒配管は断熱すること。

- ◆結露により、天井・床などが濡れるおそれあり。



指示を実行

ドレン配管は断熱すること。

- ◆不備がある場合、露落ちにより天井・床が濡れるおそれあり。



指示を実行

電気工事をするときに

⚠警告

D種接地工事(アース工事)は第一種電気工事士(工事条件によっては第二種電気工事士)の資格のある電気工事業者が行うこと。

- ◆アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないこと。
- ◆アースに不備がある場合、ユニットがノイズにより誤動作し、感電・発煙・発火・火災・爆発のおそれあり。



アース接続

移設・修理をするときに

⚠ 警告

移設・修理をする場合、販売店または専門業者に依頼すること。分解・改造はしないこと。

- ◆ 不備がある場合、冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・火災のおそれあり。



禁止

お願い

ユニットの使用温度・湿度範囲を守ってください。

- ◆ 範囲外で使用した場合、故障のおそれあり。

吹出口・吸込口を塞がないでください。

- ◆ 風の流れを妨げた場合、能力低下・故障のおそれあり。

エアフィルターを外した状態で運転しないでください。

- ◆ ユニット内部にゴミが詰まり、故障のおそれあり。

ベンジンやシンナー、化学雑巾などでリモコンに触れないでください。

- ◆ 汚れがひどい場合、水でうすめた中性洗剤を布につけ、よく絞った状態でふき取り、乾いた布でふきあげること。
- ◆ 変色のおそれあり。

故障をさけるために必ず守ること

使用上の注意

**エアフィルタを外したまま
使用しない。**

内部にゴミがつまり、故障の原因
になります。

**吹出口・吸込口を塞がな
い。**

能力低下や故障の原因になります。

使用温度範囲を守る。

範囲外で使用すると故障の原因に
なります。

(15ページをご覧ください。)

※室内吸込空気乾球温度が、約
20℃以下になると、熱交換器
に着霜する場合があります。
これは着霜←→霜取を繰り返す
ことにより除湿するためであ
り、異常ではありません。

**冷媒回路内に指定冷媒
(R407C)以外の物を混入
させない。**

空気などが混入すると、破裂や
故障の原因になります。

**運転停止して再運転する
ときは、3分以上経過して
から運転スイッチを入れる。**

3分以内の発停を繰り返すと、
故障の原因になります。

**長時間運転停止の後、再運転する場合は、6時間以上前に電源
(ブレーカ)を入れる。**

シーズン中は電源(ブレーカ)を切らないでください。クランクケース
ヒータが通電されていないと、圧縮機故障の原因になります。

**リモコンの温湿度表示は、
目安としてください。**

条件により数度(%)ずれる場合が
あります。

**薬剤散布するときは、運転スイッチを切ると共にカバーを
掛けてください。**

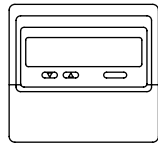
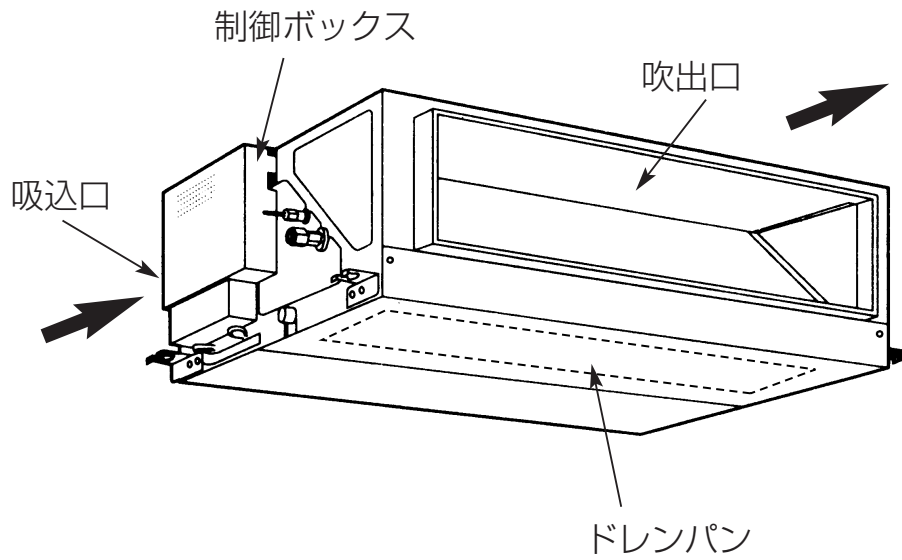
薬剤がかかると、漏電および塗膜が剥がれることがあります。

腐食性雰囲気ではリモコンを使用しないでください。

端子に錆が発生することがあります。

各部の名称とはたらき

本体部（室内ユニット）



リモコン（室内ユニット付属）

※リモコン詳細については
P.8～P.10を参照してください。

リモコン部

操作ロックボタン

ボタンを押すことにより(2秒以上押し続ける)、他の操作ボタンが無効になります。
 ※『運転/停止』、『緊急停止』ボタンはロックしません。
 ※[▼▲設定]ボタンにより温度・湿度設定値の確認はできます。

③モード切替ボタン

設定モード時にボタンを操作することにより設定する項目を切換えることができます。
 モード1：運転モード
 モード2：湿度デフォルト
 モード3：湿度設定ポイント
 モード4：温度設定ポイント
 モード5：温度デフォルト
 <上限>
 モード6：温度デフォルト
 <下限>
 モード7：温度シフト差

⑦登録ボタン

モード設定時にボタンを操作することにより、設定値を登録することができます。

⑥設定値変更ボタン[▼▲]

モード設定時、各種設定値を変更します。

⑨設定ボタン[▼▲]

ボタンを1回押すことにより、設定値の確認ができます。設定値を表示中に押すことにより、設定値を変更することができます。操作ロック中には設定値の確認のみ可能です。

②運転/停止ランプ(LED赤色)

運転時『点灯』
 異常時『点滅』

①運転/停止ボタン

ボタンを押す度(2秒以上押し続ける)、運転 ↔ 停止が切替わります。異常時はいったん停止させることにより異常停止が解除されます。
 ※霜取中の場合、霜取終了後に停止します。

緊急停止ボタン

ボタンを押すことによりユニット運転中圧縮機、送風機を瞬時に停止させます。

診断ボタン

3秒以内に2回押しすることで、点検(自己診断)モードに移行します。5秒以上押し続けるとリモコン診断モードに移行します。

履歴消去ボタン

3秒以内に2回押しすることで、過去の異常履歴を消去します。

手動霜取ボタン

ボタンを操作することにより、除霜を開始します。

霜取りセットボタン

ボタンを操作することにより、除霜を終了させます。

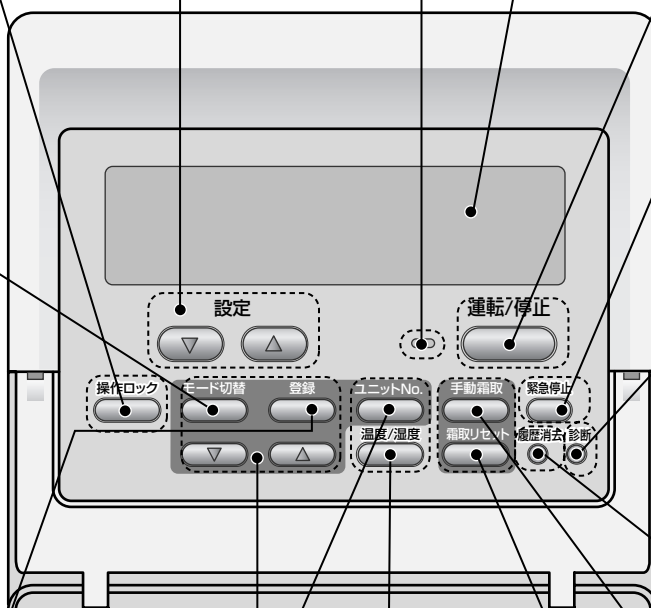
ユニットNo.ボタン

ボタンを操作することにより、グループ運転内の各ユニットの吸込空気を表示部に表示することができます。
 ※通常は親機(UC1)の吸込空気の状態を表示します。

⑧温度/湿度ボタン

ボタンを操作することにより、液晶表示内容を変更することができます。「室内温度」→「室内湿度」→「室内温度・湿度交互表示」→

表示部詳細下記



表示部詳細

運転状態表示部

『運転』…運転時表示します。
 『霜取』…霜取時表示します。
 『異常』…点検必要時表示します

室内温湿度/設定温湿度表示部

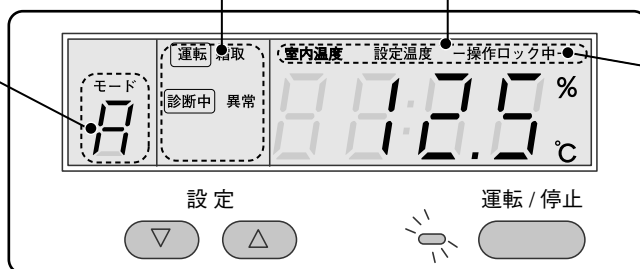
液晶表示の表示内容を表示します。
 例、「室内」「温度」「設定」「湿度」
 ※液晶の単位表示「℃」「%」も表示が変わります。

④モード番号表示部

通常は運転モードを表示します。
 A：自動モード
 d：除湿固定モード
 C：冷却固定モード
 F：送風固定モード
 モード切替時にはモード番号(1~7)を表示します。

操作ロック表示部

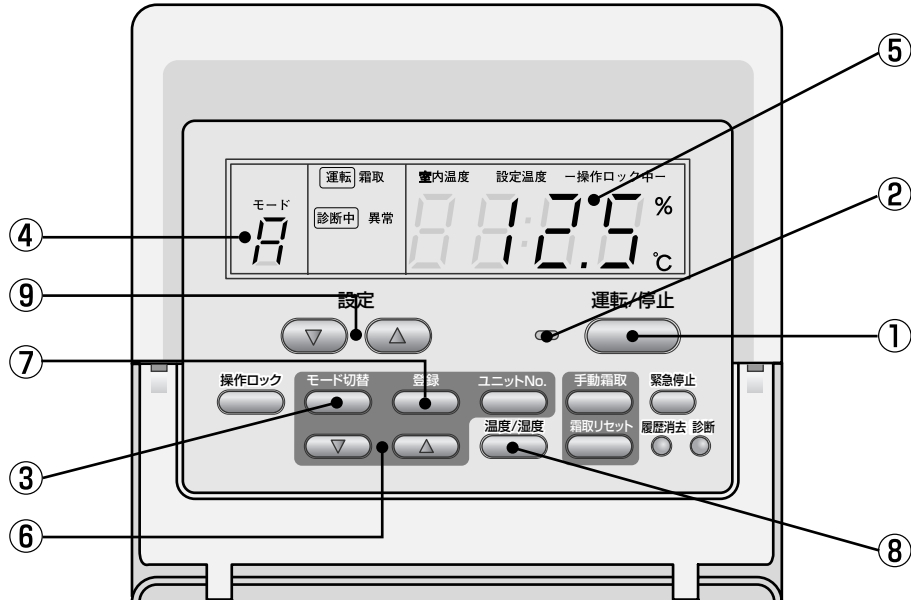
操作ロック時、表示します。



運転の仕方

運転／停止と運転モード、室温湿度調節の仕方

外部信号等で運転操作される場合は、その操作方法に従ってください。



運転を開始するとき

- (運転/停止) ボタン①を押す。
運転ランプ②が点灯します。
・再運転は、下記運転内容となります。

	リモコン設定内容
運転モード	前回運転モード
温度設定	前回運転温度
湿度設定	前回運転湿度

運転を停止するとき

- (運転/停止) ボタン①を押す。
運転ランプ②が消えます。

運転モードを選ぶとき

通常は、変更せずにA(自動)にて使用してください。
d:除湿固定、C:冷却固定、F:送風固定で使用する場合は以下にて設定ください。

- 運転中に (モード切替) ボタン③を押す。
モード表示部④に1と表示されます。
※モード切替ボタン③を押すごとに1~7まで表示されますが、必ず1としてください。
また、現在の運転モード番号が⑤に表示されます。
※モード切替ボタン③を押さない時⑤には設定(室内)温度(湿度)が表示されます。
- (設定) ボタン⑥を押して希望の運転モードを選択してください。
運転モードと運転モード番号の対比は下記となっていますので、希望の運転モードとなるように運転モード番号を表示部⑤にて確認して設定ください。

設定モード番号	運転モード番号	運転モード		運転内容
1	1	A	自動	目標の温湿度となるように自動で運転モードが切替わります。
1	2	d	除湿固定	目標の湿度となるように除湿運転のみを行います。
1	3	C	冷却固定	目標の温度となるように冷却運転のみを行います
1	4	F	送風固定	送風運転のみを行います。
④	⑤			

- (登録) ボタン⑦を押すと運転モードの変更が確定します。
モード表示部④に希望のモードが表示されることを確認ください。

室内温湿度を表示するとき

- (温度/湿度) ボタン⑧を押すごとに
「室内温度」→「室内湿度」→
「室内温湿度交互」を⑤に表示します。

設定温湿度を変えたいとき

- (設定) ボタン⑨を1回押すことで現在の設定値を表示できます。
(室内温度表示中は、設定温度の表示、
室内湿度表示中は、設定湿度の表示が
できます。)
- 設定温度(湿度)表示中に、(設定) ボタン⑨を押して設定温度(湿度)を変更できます。
1回押すごとに設定温度(湿度)を1℃(%)変えられます。
設定範囲は下記です。

温度	湿度
0~40℃	29~85%

※実際の使用可能温湿度はP.15記載の使用範囲内になります。

- 変更後、約10秒放置すると⑤には室内温度(湿度)が表示され設定完了です。

その他の表示・点滅について

霜取

霜取運転のとき

- ・(室内ユニットの熱交換器についた霜を溶かす運転をしています。異常ではありません。)
- ・運転状態表示部に『霜取』と表示します。



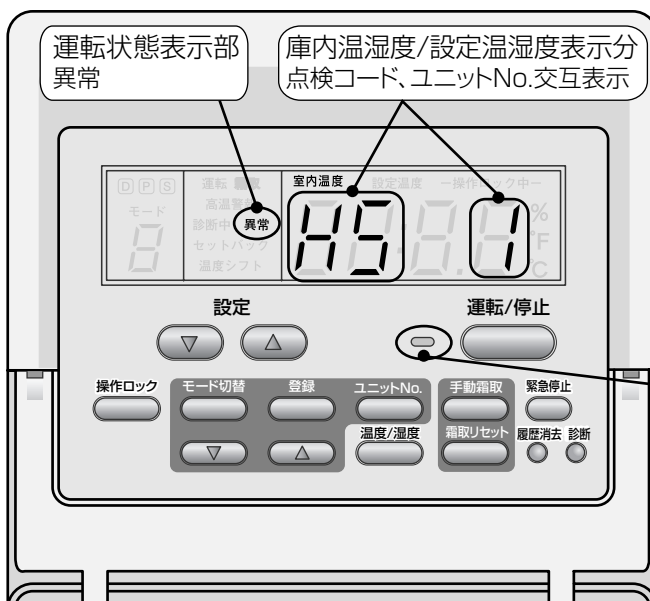
異常

異常発生するとき

- ・運転状態表示部に『異常』表示がします。
- ・運転ランプが点滅します。
- ・庫内温湿度/設定温湿度表示部に点検コードとユニットNo.が交互点滅します。

点検コードとユニットNo.をメモしてお買い上げの販売店にお申しつけください。

※異常時、運転/停止ボタンを押して停止させることで、『異常』表示を解除できます。



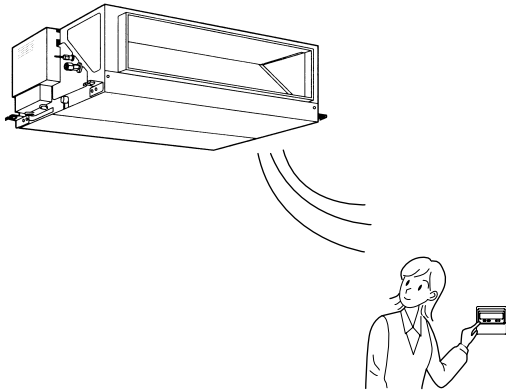
点検コード

H※	高温・高圧系異常
L※	低温・低圧系異常
C※	センサ系異常
EF	送風機異常
F※	リモコン通信系異常

長期間ご使用にならないとき

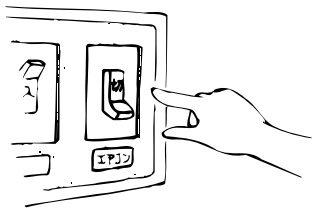
長期間ご使用にならないとき

- (1) 4～5時間、送風運転して室内ユニット内部を乾燥させる。



- (2) リモコンの（運転／停止）ボタンを押して、運転を停止する。

- (3) 室内・室外ユニットの電源（ブレーカ）を切る。



再度使い始めるとき

- 下記作業(1)～(4)の点検を行い、異常のないことを確認後、電源（ブレーカ）を入れてください。

- (1) エアフィルタを清掃して、取付ける。



- (2) 室内ユニットの吹出口・吸込口がふさがれていないことを確認する。

- (3) アース線が外れていないことを確認する。

室内ユニットにも取付けてある場合があります。

D 種接地工事（アース工事）は第一種電気工事士（工事条件によっては第二種電気工事士）の資格のある電気事業者が行うこと。

- アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないこと。
- アースに不備がある場合、ユニットがノイズにより誤動作し、感電・発煙・発火・火災・爆発のおそれあり。



- (4) ドレンホースの折れ曲がり、先端の持ち上がり、詰まりなどのないことを確認する。

- (5) 運転開始の6時間以上前から

必ず電源（ブレーカ）を「入」にする。

お手入れの仕方

掃除をする場合、電源スイッチを切ること。(電源プラグ付きの製品は、プラグを抜くこと。)

- ・ファン・回転機器により、けが・感電のおそれあり。



回転物注意

部品端面・ファンや熱交換器のフィン表面を素手で触れないこと。

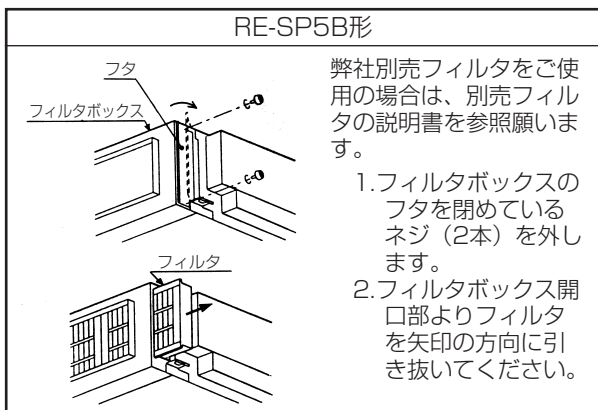
- ・けがのおそれあり。



けが注意

エアフィルタの清掃

1 エアフィルタを取外す。



2 取外したエアフィルタのホコリを掃除機で吸取るか、水洗いする。

- 汚れがひどいときは、中性洗剤を溶かしたぬるま湯で洗ってください。
- 50℃以上の熱いお湯をかけないでください。変形することがあります。
- もみ洗いや強く絞ることはさけてください。
- すすぎは十分に行い、洗剤が残らないようにしてください。

【洗浄の目安】

- ・ホコリの少ない場所
月1回程度
- ・ホコリの多い場所
週1回程度



3 水洗いしたときは、日陰でよく乾かす。

直射日光や直接火に当てて乾かさないうでください。変形・変色することがあります。

4 エアフィルタを元どおりに取付ける。

パネルの清掃

中性洗剤をやわらかな布に含ませて拭き、最後に乾いた布で洗剤が残らないように拭き取ります。



ベンジン・シンナーの使用はさけてください。

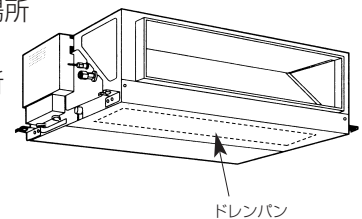


室内ユニットドレンパンの洗浄

室内ユニットドレンパンにホコリなどがたまりますと、水漏れや腐食の原因となります。定期的に洗浄してください。

【洗浄の目安】

- ・ホコリの少ない場所
月1回程度
- ・ホコリの多い場所
週1回程度



ようすがおかしいとき

●動かない！

リモコンの運転表示が点灯しない。

■電源（ブレーカ）が入っていないことが考えられます。電源（ブレーカ）をご確認ください。

●勝手に動き出した！

運転・停止ボタンを押さないのに動き出した。

■外部入力信号にてON操作した場合は、運転・停止ボタンを押さなくても動き出します。

●勝手に停止した！

運転・停止ボタンを押さないのに停止した。

■外部入力信号にてOFF操作した場合は、運転・停止ボタンを押さなくても停止します。

●運転が止まらない！

停止ボタンを押したのに停止しない。

■霜取運転中に運転・停止ボタンを押しても、霜取終了まで運転を継続します。

●湿気が取れない、よく冷えない、加熱能力が足りない！

湿気が取れない、よく冷えない、加熱能力が足りない。

■温湿度設定値を確認して、調節してください。
■フィルタが汚れ、目詰まりして風量が低下している場合は、フィルタの清掃をしてください。
■室内ユニットの吹出口・吸込口が塞がれている場合は、室内ユニット周囲空間を広く開けてください。
■除湿運転時に高圧圧力抑制運転に入る為、10分間加熱能力が低下します。
■同一室内据付の場合でも吸込空気温度・湿度に違いがあり、能力の少ないユニットもあります。

再運転のために停止後すぐに運転・停止ボタンを押したがすぐに運転を再開しない。

■機器を保護するため、マイコンの指示で止まっています。停止から、約3分間お待ちください。

●音がする！

水の流れるような音や時々“プシュ”と音がする。

■ユニット内部の冷媒が流れている音や、冷媒の流れが切替わるときの音です。異常ではありません。
※もし気になるような音の場合は、お買い上げ販売店にご相談ください。

“ピシッ、ピシッ”という音がする。

■温度変化で部品などが膨張・収縮して、こすれる音です。異常ではありません。
※もし気になるような音の場合は、お買い上げ販売店にご相談ください。

●水蒸気が出る！

室内ユニットより白い霧状の水蒸気がでる。

■室内の温湿度が高い場合、運転の始めにこのような現象が起こる場合があります。異常ではありません。

●リモコン設定について

リモコンにエラーコードが表示される。

■自己診断機能が作動して除湿機を保護しています。
※ご自身では絶対に修理しないでください。除湿機の電源（ブレーカ）を切り、お買い上げの販売店に製品名・リモコン表示内容を連絡してください。

原因・処置を参照しても、不明の場合はお買い上げの販売店へご連絡ください。

保証条件・アフターサービス

保証条件

1 無償保証期間および範囲

据付けた当日を含め1年間としますが、無償にて支給するのは故障した部品または当社が交換を認めたユニットに限ります。ただし2項に記載する使用方法による故障については、保証期間中であっても有償となります。

2 保証できない範囲

(a) 下表に指定した範囲外で使用したことによる事故の場合

項目	使用範囲
周囲温度・湿度	P.15 記載の使用範囲内
電源/電圧	三相200V 50/60Hz 運転中の電圧 190~220V 始動時の最低電圧 170V以上 相間電圧不平衡率 2% (4V) 以内

(b) 当社の出荷品を据付けにあたって改造した場合

(c) 運転、調整、保守が不備なことによる事故の場合

- 塩害
- 据付け場所不備による事故（風量不足、化学薬品等の特殊環境条件）
- メンテナンス不備（ガス漏れを気づかなかった場合）
- 現地配管工事による事故（口付け不良、配管損傷、冷媒回路への異物の混入）
- 冷媒過充てん、冷媒不足に起因する事故
- 真空運転による空気、水分を吸込んだと判断される場合
- ショートサイクル運転による事故（運転-停止各々3分以下をショートサイクルと称す。）

(d) 天災、火災による事故

(e) 据付工事中に不都合がある場合

- 据付工事中取扱い不良のため損傷、破損した場合
- 当社関係者が工事上の不備を指摘したにもかかわらず改善されなかった場合
- 軟弱な基礎、軟弱な台枠が原因で起こした事故の場合

(f) その他、ユニット据付け、運転、調整、保守上常識となっている内容を逸脱した工事および使用方法での事故は、一切保証できません。

また、ユニット事故に起因した冷却物、営業補償等の2次補償はいたしませんので当社代理店等と相談の上損害保険で対処してください。

(代理店等と相談して損害保険に加入してください。)

3 点検周期および保全期間

保全周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。

主要部品名	点検周期	保全周期 [交換または修理]	主要部品名	点検周期	保全周期 [交換または修理]
圧縮機	1年	20,000時間	膨張弁	1年	20,000時間
モータ		20,000時間	バルブ (電磁弁など)		20,000時間
ペアリング		15,000時間	センサ (サーミスタ、圧力センサなど)		5年
電子基板類		25,000時間	ドレンパン		8年
熱交換器		5年			

注1. 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。

注2. この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計（保守点検費用の予算化など）のためにお役立てください。また保守点検契約の内容によっては本表よりも、点検・保全の周期が短い場合があります。

アフターサービス

●保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。

ご連絡にあたっては次の点をハッキリお示しください。

1. 除湿機の形名 [例えば REH-SP5B]
2. 製造番号 [吸込グリルを外したドレンパンの定格銘板に記入してあります。]
3. 故障の具合



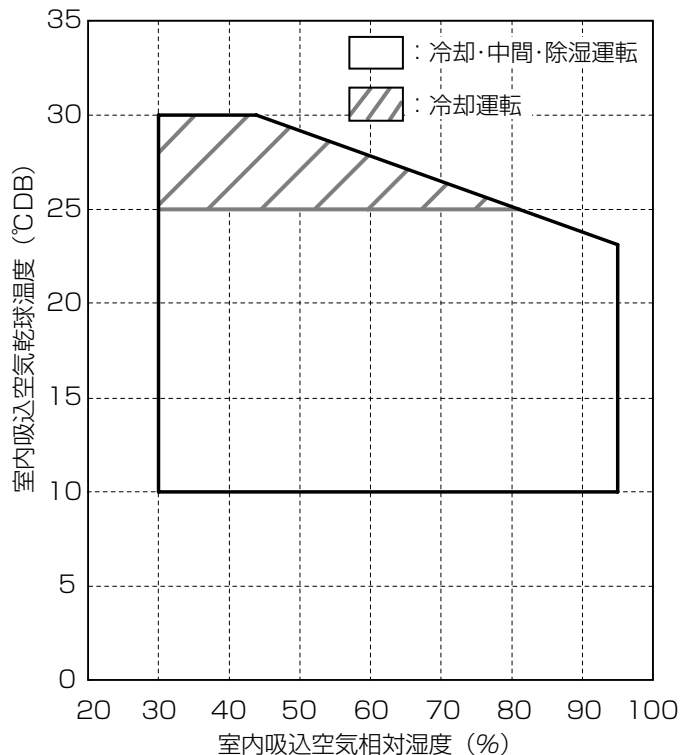
別売部品

- 高性能フィルタ (NBS65%)
 - 高性能フィルタ (NBS90%)
 - ロングライフフィルタ
 - フィルタボックス
 - 天吊用パネル
- PAC-KE35AF
 PAC-KE45AF
 PAC-KE85LAF
 PAC-KE95TB
 J-SP5TP

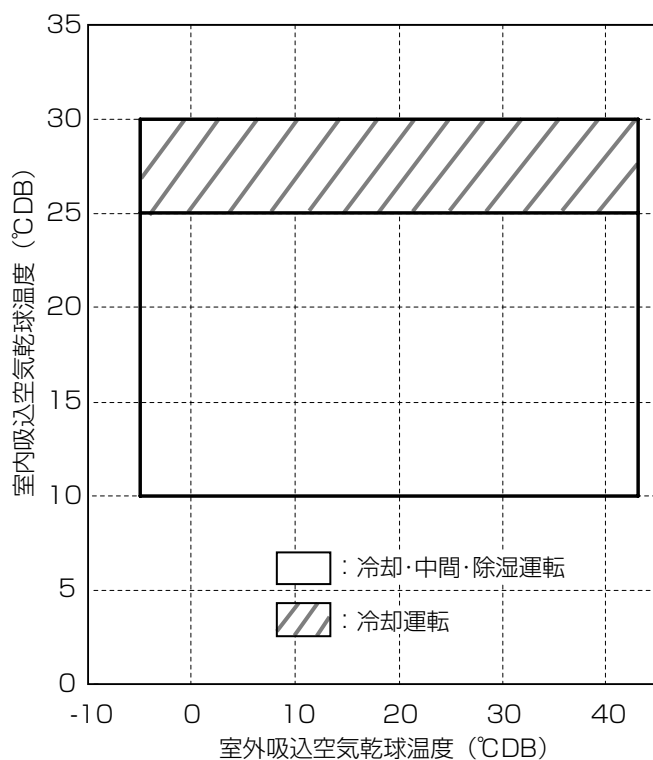
運転温湿度範囲のめやす

- 下図の温湿度範囲内でご使用ください。
 下図の範囲外でご使用になりますと、保護装置が作動してユニットが停止したりする場合があります。
 室内吸込空気乾球温度が約20℃以下になると、室内ユニットの熱交換器に霜が付くため自動的に霜取運転をします。異常ではありません。

室内温湿度



室内外温度



様式1 冷媒漏えい点検記録簿(汎用版)

年 月 日 ~ 年 月 日

管理番号

施設所有者							設備製造者							
施設名称				系統名				設置年月日						
施設所在地				電話				使用機器	型式			製品区分		
運転管理責任者				電話					製番			設置方式	現地施工	
点検事業者	会社名			責任者					用途			検知装置		
所在地				電話				冷媒量(kg)	合計充填量	合計回収量	合計排出量	排出係数(%)		
使用冷媒			初期充填量(kg)			点検周期	基準				実績(月)			
作業年月日	点検理由	充填量(kg)	回収量(kg)	監視・検知手段(最終)	センサー型式	センサー感度	資格者名	資格者登録No.	ファクトリNo.	確認者				

●JRA* GL-14「冷凍空調機器の冷媒漏えい防止ガイドライン」に基づく冷媒漏えい点検のお願い

本製品を所有されているお客様に、製品の性能を維持して頂くために、また、冷媒フロン類を適切に管理して頂くために、定期的な冷媒漏えい点検（保守契約などによる、遠隔からの冷媒漏えいの確認などの、総合的なサービスも含む）（いずれも有償）をお願いいたします。
 定期的な漏えい点検では、漏えい点検資格者によって「漏えい点検記録簿」へ、機器を設置した時から廃棄する時までの全ての点検記録が記載されますので、お客様による記載内容の確認とその管理（管理委託を含む）をお願いいたします。
 なお、詳細は下記のサイトをご覧ください。*JRA:社団法人 日本冷凍空調工業会
 ・JRA GL-14について、<http://jraia.or.jp/info/gl-14/index.html>
 ・フロン漏えい点検制度について、http://www.jarac.or.jp/business/cfc_leak/

愛情点検

●長年ご使用のユニットの点検を！

ユニット補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後9年です。



ご使用の際、このようなことはありませんか？

- 運転音が異常に大きくなる。
- 室内ユニットから水が漏れる。
- 電源が頻繁に落ちる。
- その他の異常や故障がある。

ご使用中

故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

後日のために記入しておくとお便利です。

お買い上げ店名

電話

お買い上げ(据付け)日

年 月 日

三菱電機株式会社

冷熱システム製作所 〒640-8686 和歌山市手平6-5-66

WT05842X03